



Model : PB-2127B

BIG BENDER B-Type

ビックベンダー B 型



● 手でサイドガード用パイプ、幌骨、ハシゴ、キャリアなどに使われている厚肉の鉄、ステンレス、アルミ、銅パイプを軽々と迅速、正確、簡単に曲げる事ができます!!

適用

● 適応パイプ

- ・ 材質：鉄、銅、アルミ、ステンレス
- ・ 外径：φ 15.8 ~ φ 26.0、φ 27.2
- ・ 肉厚：2.0mm 以上（厚肉パイプ）

● DATA

	φ 15.8 ~ φ 26	φ 27.2
曲げ半径(中心半径)	72mm	80mm
最大曲げ角度	180°	180°



◆◆◆◆ 使用方法・取扱上の注意事項 ◆◆◆◆

<!> インパクトレンチの使用は厳禁です。

<!> 各ローラー部が汚れている時は、きれいに汚れを落とし、可動部分にはモリブデングリスを注油してから作業を行ってください。

<!> 肉厚の薄いパイプまたは、径の異なるパイプを曲げると、変形したり、曲げ部分が波状に歪むことがあります。

●各部名称

(φ 15.8 ～φ 26 アジャストタイプ

左右に回すことにより径が変わります)

巻きつきローラー上板 →

巻きつきローラー →
(φ 27.2 固定)

ギアー (大) →
※ギアー (大)、(小) の組み合わせにより
極めて軽く加工できます。

パイプおさえ →

巻きつきローラー固定ボルト

お手持ちのラチェットハンドルなどを使用してください。

※インパクトレンチは絶対に使用しないでください。

ピニオンシャフト (H: 21mm)

曲げローラー

回転板

注油穴

※使用時には必ずタービン油 90# 相当オイルまたは、
モリブデングリスを注油してください。

ギアー (小)

<<< 使用方法 >>>



1. 本体をバイスにしっかりと固定します。
φ 15.8 ～φ 26 のパイプを加工する
場合は、巻きつきローラー固定
ボルトをゆるめ上段の巻きつき
ローラー上板を左に回して広げて
おきます。



2. 上段の巻きつきローラーにセットし、巻きつき
ローラー上板を右に回し、パイプ外径に
合わせます。その後、巻きローラー固定ボルトを
しっかり締めつけます。
φ 27.2 のパイプを加工する場合は、
下段の巻きつきローラーにセットします。



3. お手持ちのラチェットハンドル (延長して
500mm 位になるものが良い) を使用し、
曲げ加工を行ってください。
加工後パイプが外れない場合は、
ラチェットハンドルを逆回しすることにより
簡単に外すことができます。

※ビックベンダー B 型の注油方法

ビックベンダー B 型のご使用時に際しては、下記の矢印の箇所に必ずタービン油 90# 相当オイルまたは、
モリブデングリスを注油してください。

※注意：油切れ状態でご使用になると、カジリ付きを起こします。

巻きつきローラー上板

注油穴あり

ピニオンシャフト

注油穴あり

